

キーワード

基礎的な知識・技能の習得

標 題

学習規律の徹底と基礎的基本的な学習内容の確実な定着

①学校の概要（平成25年7月1日現在）

・児童生徒数76名 ・学級数6学級 ・教職員数10名

②取組を始めた経緯

○校内研究で「話すこと、聞くこと」の指導を取り上げて、全教育活動で実践を進めたこと
○県教委指定家庭学習アシスト事業に取り組み、家庭学習の充実を図る実践を進めたこと
○ずいぶん前から、漢字・計算力の定着を図る取組をしてきたこと

③取組の実施体制

○「話すこと、聞くこと」に関しては校内研究で取り組んでいるので研究主任を中心に実施する。
○家庭学習については、学力向上担当者を中心に実施する。
○全ての取組が円滑に進むよう教務主任が要の役割を果たした。

④学力向上に向けた具体的な取組

○家庭学習の提出率100パーセントをめざす。宿題だけでなく自主学習にも取り組ませる。家庭学習強化週間の取組
○話を聞くときの姿勢（お腹と背中にグー一つ、足はぺたぺた…という合い言葉を、低学年でしっかり唱えさせ、実際にさせる指導をしている）字を書くときの姿勢の指導。
○年間16回漢字テスト、年間12回の暗算テストの実施

⑤取組の成果と課題

○掲示物に沿った話し方、聞き方ができる児童が増えてきた。集会活動等でも自分の考えや感想が言える児童が増えてきた。
○姿勢の指導は絶えずやり続けないとすぐ崩れる。字を書くときの姿勢が悪い児童が多いので指導をしている。
○漢字テスト、暗算テストの合格点を決めている。どちらも8～9割の児童が合格している。

⑥取組の継続・発展の要因

○校訓（就将の誇り、就将の心）を全教員が共通認識し、地域の教育を背負っているという自負と誇りをもって教育にあっている。
○児童の実態から、コミュニケーション力をつけなければならないという教師の強い思い、次第についてきているという成果の実感があるから続いていると思われる。
○漢字・計算テストは、40年近く前から続いている上に、児童の力が確かについてきて、教師がその成果を実感しているからと思われる。

⑦管理職・中核教員等のアクション

○漢字テストの○付けは、校長が行い、一人ひとりの達成状況を確認、担任を通して指導。どちらのテストも各児童の結果を一覧表にしたものを教務主任と管理職が確認、担任を通して指導。定期的に児童の習得状況の把握を行っている。
○指導の様子や習得状況を、保護者に知らせ、家庭の取組について協力を得るようにしている。

⑧資料・写真等



背筋をのばして



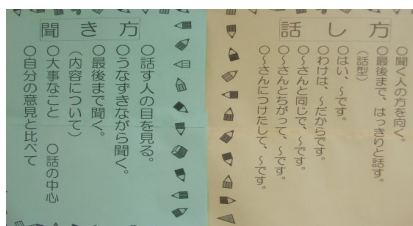
手はひざに



足の裏を床にべったりつけて



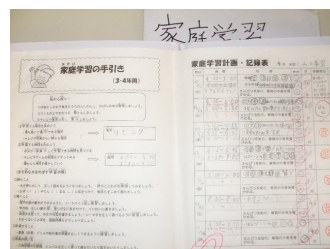
挙手は右手をのばして



話し方、聞き方の掲示物、各教室に



暗算テストの取り組んでいる様子。決められたタイムで実施



家庭学習強化週間の記録用紙